



Artwork: Katsuhiko Hibino

感じる計画! PLAN^{TO} FEEL!

KUMAMOTO CITY MASTER PLAN EXHIBITION

熊本市第8次総合計画展

CAMK 熊本市現代美術館 ART LAB MARKET
CONTEMPORARY ART MUSEUM KUMAMOTO 井手宣通記念ギャラリー

2024年4月3日(水) → 5月27日(月)〔火曜休館〕

入場料:無料 開館時間:10:00-20:00 主催:熊本市 企画監修:日比野克彦(熊本市文化顧問、熊本市現代美術館館長)



「総合計画」とは、現在の熊本市をとりまく各種の課題を踏まえつつ、将来のめざすまちの姿の実現に向けて策定する、長期的なまちづくりの方針のことです。少子高齢化や相次ぐ自然災害、急速に進展する社会のデジタル化への対応など、さまざまな課題を抱える時代のなかで、わたしたちの地域はどのような未来像を描き、進んでいくことができるのでしょうか？

本展では「感じる計画！」をキーワードに、8つのビジョンと響き合う美術作品やイメージ映像の展示、ワークショップの開催などさまざまな形をとおして、この「総合計画」のエッセンスをお伝えします。

行政は各種のデータをもとに、熊本市がめざすまちの姿を構想し、それを実現するための具体的な諸施策を積み上げていますが、同時にまちの明るい未来のためには、そこに住むひとりひとりが地域の状況に関心をもち、みずから行動していくことも重要です。市民のみなさんがこれからのまちづくりのあり方を考えていくきっかけとして、本展が役割を果たすことができれば幸いです。



熊本市第8次 総合計画展について

アートには気持ちを動かす力があります。

今回の展覧会「熊本市第8次総合計画展 感じる計画

PLAN TO FEEL」には、はっきりとした目的があります。

それは、展覧会を訪れた人の気持ちがフワリと動き、熊本市の未来に繋がって行くことです。

8つのビジョンからなる総合計画をテキストで理解するだけではなく、感じる力で自身とリンクしてみよう！という、行政と美術館が一緒になって取組む全国初の試みの展覧会です。

「熊本市第8次総合計画展 感じる計画 PLAN TO FEEL」の感じ方に正解はありません。

一人ひとりの違いは、その人らしさです。

らしさの色が多彩であったほうが豊かになり、ひとりひとりの色も周りの色々な色でより、その色らしく見えてくるでしょう。

そして、ひとりひとりの色が集まったまちの未来は、そのまちらしさの色あいが見えて来るでしょう。

だれもが、その人らしい未来へ。

感じる計画。感じる計画。感じる計画。

感じる計画。感じる計画。感じる計画。

感じる計画、感じる計画。

第8次熊本市総合計画。

PLAN TO FEEL。

本展企画監修 日比野 克彦

オープニングトーク

登壇者 日比野克彦（熊本市現代美術館館長、熊本市文化顧問）

大西一史（熊本市長）

伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター教授）

日時 4月3日（水）14:00～16:00

会場 熊本市現代美術館ホームギャラリー

展覧会の開幕を記念して、本展の企画監修を務めた日比野克彦館長と大西一史市長によるトークを開催します。ゲストには東京藝術大学で「文化的処方」の活動に取り組む伊藤達矢教授をお迎えします。